



棚割n@vi3D

for Windows Vista/7/8/8.1/10(32bit/64bit)

ユーザーズマニュアル



HS

はじめに

この度は、『棚割n@v i 3D』をお求めいただきありがとうございます。
『棚割n@v i 3D』は、棚割図を簡単に作成するソフトです。
小売業をとりまく環境が益々厳しさを増す中で、売上アップに少しでも
お役に立てればと思い開発いたしました。
あらかじめこの説明書をよくお読みになり、末長くご使用くださいます
ようお願い申し上げます。

《平成23年7月1日追記》

3Dモーションを初めて導入しました。什器の材質を変更したり、視点を変えて
みることにより、今までより一歩進んだ販促資料づくりができれば幸いです。

(目次)	頁
このソフトの特徴 I・II・III	4
1 インストールと起動・終了	7
2 画面の説明	9
3 前準備	10
4 制作手順の概要(クイックレッスン)	11
(売場とファイルの考え方)	
5 売場と什器と棚段と共通台帳	15
(使い方)	
6 初期画面の操作	17
7 メニューの操作	18
8 ツールバーの操作	19
9 売場・什器・棚段の操作	20
10 商品陳列の操作	22
11 画面への表示倍率の設定	25
12 オプション	26
(マスタの登録)	
13 メーカー名の登録	28
14 分類名の登録	29
15 商品と画像の登録	31
16 POPと画像の登録	33
17 インポートとエクスポート	34
17A エクセル作成	35
17B データベース最適化	36
(図表の出力)	
18 図表の表示	37
19 図表の印刷	38
(付録)	
1 「ちょっと切り貼り」の操作	40
2 このソフトの制限事項	41
3 ファイルフォーマット	42
4 本ソフトのフォルダ構成	44
5 よくある質問(FQA)	45
6 3Dモーションについて	56
7 「画像リサイズ」の操作	57

このソフトの特徴（I）

■初心者優しい簡単な操作で棚割図表の作成や商品分析ができます。

パソコンの初心者でも、使い始めた時から、すぐに棚割りができます。

このソフトだけの大きな特徴は「商品画像が無くても商品コードと商品名の登録だけで、すぐに棚割図ができる」ことです。出来上がった「棚割図」を「営業提案書」や「販売カタログ」にのせれば、一層ひきたつこと、うけあいです。迷ったら「ナビゲーション」にそって操作して、本格的な「棚割図」の完成です！

■強力な分析を実現する図表を作成できます。

「棚割図」や「棚割表」の基本的な図表のほかに、「ABC分析表」、「スペース分析表」などの分析資料を実装しています。

《図表の種類》

- ・棚割図（左寄せ、右寄せ、中央寄せ、均等など4種類。用紙のサイズ別に4種類。全什器、什器単体、什器別々など3種類、棚割図と棚割表の同時印刷など2種類）
- ・棚割表（全什器、什器単体、什器別々など3種類。用紙のサイズ別に4種類。）
- ・棚割リスト（出力順5種類）
- ・3D棚割図（用紙のサイズ別に4種類。）
- ・金額別ABC分析図（用紙のサイズ別に4種類）
- ・数量別ABC分析図（用紙のサイズ別に4種類）
- ・粗利益別ABC分析図（用紙のサイズ別に4種類。）
- ・スペース構成分析図（用紙のサイズ別に4種類。）
- ・構成比分析（大分類別、中分類別など2種類。全什器、什器単体など2種類。用紙のサイズ別に4種類。）
- ・プライスカード（バーコードの種類別に4種類。用紙のサイズ別に4種類）
- ・商品リスト（4列×5行、5列×5行、の2種類、用紙のサイズ別に4種類）
- ・商品一覧表
- ・3Dモーション（DirectXの使用で、什器の拡縮、視点の変更、回転、移動などが簡単にできます）
- ・比較棚割図表（変更前の棚割と変更後を比較）
- ・比較棚割表（変更前の棚割と変更後を比較）

このソフトの特徴（Ⅱ）

■POPの陳列ができます。

商品の陳列のほかに、POPの陳列ができます。

売場の雰囲気作りができます。（棚台でサポート、平台を除く）

■棚割の画像を簡単に加工するソフト「ちょっと切り貼り」を搭載。

めんどろな画像の加工もおまかせください。

デジタルカメラなどから撮った画像が簡単に棚割用に加工できます。

「ちょっと切り貼り」は、「棚割名人」のために、特別につくられた画像加工ソフトです。

大きな画像をマウスでドラッグするだけで指定したサイズの画像ファイルがつけられます。

保存する時は、ファイルの容量を選択して、画像形式のBMPまたはJPGのどちらで保存ができます。

■画面に表示された図表は、そのまま、いろんな用紙サイズに印刷することができます。

画面に表示された図表は、そのまま印刷することができるので、売場の全体を並べて確認できます。

印刷サイズは「通常使うプリンタ」に合わせて自動的にサイズ調整して印刷されます。

■「マイモード」ボタンが便利です。

作業の途中で棚割画像を拡大したり縮小したりしても、「マイモード」ボタンで、すぐに元のサイズに戻すことができます。

「マイモード」ボタンにお好きな画面サイズや図表の倍率を登録しておくことができます。

画像のサイズはお使いの画面サイズに合わせて10%、20%、・・・100%のサイズが選択できます。

このソフトの特徴（Ⅲ）

■「EXCEL」「Adobe Reader」「Photo ソフト」との連携強化

EXCEL表の商品マスタを「インポート」したり、作成した「棚割図」を「PDF形式」で保存したり、JPEG形式の画像で保存したり、他のソフトとの連携を強化しました。

マスタの登録作業は、とかくめんどうなものです。他のソフトで作ったデータがあればこれを流用しましょう。テキストデータなどがあれば、これを「インポート」してマスタにすることができます。

逆に、他のソフトに対しても利用できるように「エクスポート」で外部テキストに移出することができます。

■表形式でマスタの登録ができます。

使い慣れたExcel表のような表形式でマスタの登録ができるので、まとめて登録した

り、登録済みのデータの変更・削除が一括してできます。

■データベースにSQLiteを使用しています。

SQLiteデータベースは、広く一般的に普及しているデータベースです。扱いやすく、信頼性も高いので、棚割ソフトとの相性は抜群です。

データベースの中のデータ構造は完全に公開していますので、フリーのSQLiteデータベース管理ソフトなどを使って、データを直接読み書きすることができます。

1 インストールと起動・終了

「棚割n@vi3D」の動作可能なハードウェア

- ◆Microsoft Windows Vista/7/8/8.1/10 が動作する CPU(32bit/64bit)
- ◆Windows Vista/7/8/8.1/10 が動作する RAM
- ◆1024 × 768以上の解像度、256色以上

「棚割n@vi3D」の動作可能なソフトウェア

- ◆棚割結果を Excel 表に出力する場合は、Excel 2003 以降が必要。
- ◆.NET Framework Ver.2.0/3.0/3.5 のすべてが必要(Windows 7に含まれる)
- ◆DirectX 9.0c 以降が必要。

「棚割n@vi3D」をインストールする

「棚割n@vi3D」のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します

自動的にメニューが表示されますので、指示に従ってインストールします。

手でインストールする場合は、マイコンピュータから、「Setup. exe」をクリックします。

「ダウンロード版」は受信したファイルを実行して、指示に従って、インストールします。

『棚割n@vi3D』のセットアップが完了したら「OK」をクリックします。

続いて、.NET Framework Ver.2.0/3.0/3.5 のインストールが始まります。

続いて、DirectX 9.0c のインストールが始まります。

「棚割n@vi3D」を起動する

Windowsのタスクバーから、「スタート」「プログラム」「棚割navi3D」「棚割navi3D」の順にクリックします。

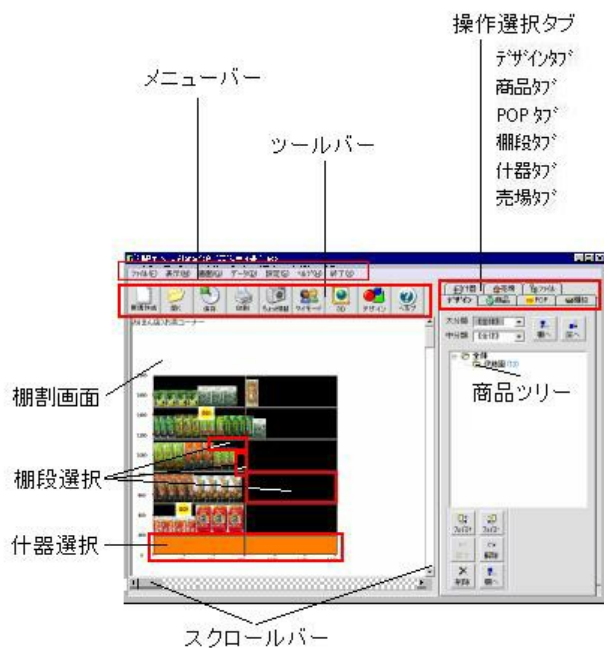
「棚割n@vi3D」を終了する

「棚割n@vi3D」のメニューにある「終了」をクリックします。

「棚割n@vi3D」をアンインストールする

スタートメニューにある「アンインストール」をクリックします。
データや画像は手動で削除してください。

画面の各部の名称



(注) 棚段を選択するには、商品が並べられてない部分をクリックします。
均等割付モードの場合には、各棚段の上半分をクリックします。

棚割りを始める前に次の準備が必要です。

「商品」についての情報を収集しておく

陳列する予定の「商品」の商品名、メーカー、サイズ(縦、横、奥) JANコードなどを整理しておきます。

できれば、期間の売上金額、売上数量、売価、原価、粗利益も収集しておきましょう。

「商品」に大分類・中分類コードを付ける

陳列する商品をグループに分けて大・中分類コードを作成します。

大分類コードとは、「洗剤」「化粧品」「菓子」等に分類したものです。中分類コードとは、「台所用洗剤」「風呂用洗剤」「洗濯用洗剤」等に分類したものです。

グループ分けをしておくと、陳列する時の商品選択が容易になります。

大分類・中分類コードは、9桁以内で付けます。

「商品」にメーカーコードを付ける

商品のメーカーのメーカーコードを付けます。

メーカーコードは、8桁以内で付けます。

「商品」の画像を登録する

画像を登録しなくても当ソフトは使用できますが、棚割図では画像が必要です。デジタルカメラなどで、商品カタログや商品を撮り、当ソフトに搭載している画像加工ソフト「ちょっと切り貼り」で、適当なサイズに加工しておきましょう。

準備は整いましたか？

前章の準備が整ったら、始めましょう。この章を読むだけで、棚割の概略は理解していただけますが、もっと詳しく知りたい場合は、次章以降をご覧ください。

「ファイル」を新規に作りましょう

起動画面の【新しいファイルを作成する】をクリックします。

【次へ】をクリックします。名前をつけて保存の画面が表示されます。

ファイル名に、「駅前店菓子売場.db」と入力して【保存】をクリックします。db という拡張子は必須です。

す。

【詳細↓】をクリックすると画面が広がって初期設定ができるようになっています。設定値はなるべく変更しないでそのまま続けてください。

【データファイルの参照先】は C:¥棚割 n@vi¥DATA¥ になっていればOKです。

【商品画像ファイルの参照先】は C:¥棚割 n@vi¥PIC¥ になっていればOKです。

【POP 画像ファイルの参照先】は C:¥棚割 n@vi¥POP¥ になっていればOKです。

次に「メーカー」「大分類」「中分類」「商品」の登録の方法を説明します。

「メーカー」を登録しましょう

メニュー【データ】の【メーカー登録】をクリックします。

メーカーコードとメーカー名を入力します。

データの追加をするには、最下行に入力します。(途中の行に挿入はできません)

データの削除をするには削除したい行の左端(灰色の部分)をクリックして、削除(Delete)キーを押します。コードに何も入っていないければ、削除データになります。

データの変更をするには、マウスで変更したいセルをクリックして入力します。

「大分類」を登録しましょう(「中分類」も同様に登録します)

メニューの【大分類登録】をクリックします。

大分類コードと大分類名を入力します。

データの追加をするには、最下行に入力します。(途中の行に挿入はできません)

データの削除をするには、削除したい行の左端(灰色の部分)をクリックして、削除(Delete)キーを押します。

データの変更をするには、マウスで変更したいセルをクリックして入力します。

「商品」を登録しましょう

操作選択タブの【商品】をクリックします。

項目を入力します。入力が終わったら【変更】をクリックします。

JANコード、メーカー、商品名、大分類、横、縦、奥は、必須項目です。

画像の登録はファイル名を JAN コードにして拡張子をメニューバーのオプションに登録すれば自動的に陳列できます。

ファイル名が JAN コードではない場合は、商品毎に画像の登録が必要です。

画像を選択する場合は、【画像】をクリックして画像ファイルを選択します。

次に「売場名」と「什器」と「棚段」の登録の方法を説明します。

「売場名」を登録しましょう

操作選択タブの【売場】をクリックします。

店舗名と売場名とを付けておきましょう。

店舗名は「駅前店」、売場名は「菓子売場」などします。

この名前は、棚割図表の表題として表示や印刷に使用されます。

「什器」を登録しましょう

ファイルを新規作成すると、什器が1台表示されます。

その什器の底板の部分をクリックします。すると全体に赤い線が表示されます。

この状態が什器の選択中の状態です。

ここで、この什器の情報を入力できます。

什器名（「スナック菓子」などの大分類名を付けておきます）、間口（横幅）、底板高、底板色を入力して【変更】をクリックします。

【変更】をクリックしないと登録になりません。

「棚段」を登録しましょう

操作選択タブの【棚段】をクリックします。

棚の高さ、奥行、板厚は必須項目です。入力して【変更】をクリックします。棚段を増やすには、棚段を選択した状態で【追加】【挿入】をクリックします。

棚段を移動するには、【移動↓】【移動↑】をクリックします。

（1つの什器の中で移動ができます）

これから、商品を棚割画面に陳列していきます。

商品を選択して棚段に陳列しましょう

操作選択タブの【デザイン】をクリックします。

メーカー名のプラス(+)をクリックすると、商品名が表示されます。

商品をマウスでドラッグして棚の中へドロップします。

ドロップ以外に次の3通りの方法でも陳列できます。

1. 棚段の空間(商品が陳列していない部分)をクリックして棚段を選択状態にします。棚段全体が赤い枠で囲まれます。商品をダブルクリックします。
2. 棚段の空間をクリックして棚段を選択状態にします。次に商品をクリックして【棚へ】をクリックすると商品が陳列されます。
3. 「商品」タブの「一覧」ボタンをクリックして、「商品一覧表」画面の中から「商品」をドラッグ&ドロップする。

棚段にある商品を別の棚段に移動してみましょう

移動させたい商品をクリックして、ドラッグしながらドロップします。

このようにドラッグとドロップで自由に移動させることができます。

このように簡単に棚割ができますが、詳しくは次章以降をお読みください。

◆上級者向けテクニック

1. 右クリックメニューによる操作。陳列した商品の上で右クリックすると「フェイスの+」「削除」などができます。
2. 棚段の移動。棚段をドラッグ&ドロップして、棚段の商品まるごと移動することができます。
3. 什器の移動。什器をドラッグ&ドロップして、什器をまるごと移動することができます。

この章は、売場と什器と棚段と共通台帳ファイルについて説明します。
それぞれの関係は棚割り作業をする上で重要になります。

1つの「売場」は、1つのファイルに含めます。

売場単位にファイルを作ります。複数の売場を1つのファイルに含むことはできません。

1つの「売場」には、複数の「什器」が設定できます。

1つの売場に、10台までの什器が設定できます。

11台以上の什器を扱うには、ファイルを分割する必要があります。

1つの「什器」には、棚段を作成し、棚段には商品を陳列します。

1つの什器に、20段までの棚段を作成できます。

1つの棚段には、最大50個まで商品を陳列できます。

この場合、フェイス数が3であれば、3個と数えます。

1つの「画像」は複数の「売場」で共通に使うことができます。

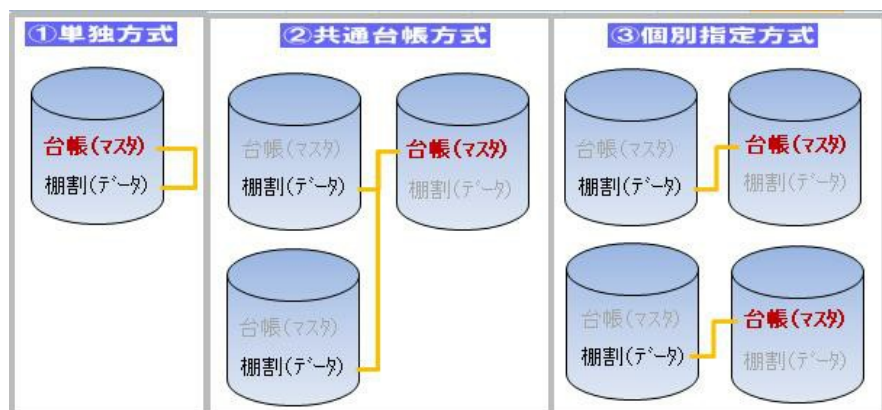
1つのファイルの中にある商品レコードは、画像ファイルを外部へ参照しています。商品から参照する画像ファイルは、新しくフォルダを作成して入れておきます。

1つのファイルは、「台帳」や「陳列データ」として使用できます。

1つのファイルには「商品台帳」「メーカー台帳」「大分類」「中分類」「POP 台帳」などのマスターファイルが含まれています。また、「陳列台帳」「棚段台帳」などの陳列データが含まれています。

1つのファイルを「共通台帳」として決めておき、このファイルを他の陳列データを含んだファイルから参照して使用することが一般的におこなわれます。共通台帳を登録するには、

初期画面で設定します。



この章は、初期画面の設定について説明します。

ファイルを開くには

「新しいファイルを作成する」を選択すると、新規ファイルが作成されます。最初に、仕器が1台と棚段が1段作成されています。

「既存のファイルを開く」を選択すると、ファイル名の一覧表の中から、作成済みのファイルを選択することができます。

ファイルを選択し、「次へ」をクリックすると棚割画面に内容が表示されます。

ファイル(F) 図表(Z) 表示(V) データ(D) 外部データ(S) ヘルプ(H)

ファイル

- 【上書き保存】作業中のファイルを保存します。
- 【名前を付けて保存】作業中のファイルを保存します。
- 【開く】呼び出したいファイルを選択します。
- 【新規作成】新しいファイルを作成します。クリックすると保存画面が出てきますので、ファイル名を付けて保存して棚割作業を始めます。
- 【印刷】各種分析表を印刷するウインドウが表示されます。
- 【画面を保存】表示中の画面を画像ファイルとして保存します。
- 【初期画面表示】初期画面へ戻ります。
- 【データベース最適化】データベースをコンパクト化します。
- 【オプション】オプション画面が表示されます。

図表

- 【棚割図】棚割図をデザイン(商品陳列)する場合はこの指定にします。
- 【棚割表】【3D棚割図】【ABC分析表】それぞれの画面を表示します。

表示 「11. 画面への表示倍率の設定」を参照

- 【画面サイズ】(1024x)(1280x)操作画面の大きさを指定します。
- 【拡大縮小】10%~100%(画像の表示倍率を指定します。小さい値にすると全体を並べて見ることができます)

データ

【メーカー登録】【商品登録】【大分類登録】【中分類登録】【POP登録】【陳列データ】の登録画面。各画面では、データの追加(一覧表の空白行に入力する)、データの削除(左端のコードを削除する)、データの修正(データを上書きする)ができます。

外部データ

【インポート】【エクスポート】【エクセル作成】の画面からテキストやエクセルのデータを移入移出ができます。



【新規作成】新しいファイルを作成します

【開く】呼び出したいファイルを選択します

【保存】作業中のファイルを上書き保存します

【印刷】各種分析表を印刷するウインドウが表示されます

【ちょっと切り貼り】画像加工ソフト

デジタルカメラなどから撮った画像を棚割用に加工できます。

【マイモード】

メニューの【オプション】の画面にて、画面の解像度、倍率を指定しておくことにより、【マイモード】をクリックすれば、すぐに設定値に戻ります。

【3D】3Dモーションを表示します

【デザイン】画面の表示をデザインに戻します

「表示」メニューで「棚割表」や「3D棚割図」などが表示されていれば、デザイン画面に戻ります。

【売場】の名前を登録します

操作選択タブの【売場】をクリックします。

売場名 日本語25字以内で指定します。

店舗名 日本語25字以内で指定します。

入力後、【変更】をクリックして登録します。

【什器】の各項目の登録

操作選択タブの【什器】をクリックします。

什器名 日本語25字以内で指定します。

什器番号 左から1～の順番に自動的に付けられます。

間口(横幅) ミリメートル単位で指定します。(100～)

※ 上下ボタンを使用すれば、600,750,900,1200 の順に目盛が表示されます。

数字を直接入力することもできます。

底板高 ミリメートル単位で指定します。(10～)

底板色 色コードを指定します。(省略時、黒)

色表 色コードを参照して設定できます。

段数 棚段の数が自動設定されます。

入力後、【変更】をクリックして登録します。

「什器」を追加・削除する前に

次の各操作は、あらかじめ什器の底面の一部をクリックして、什器を選択中にしておきます(什器全体が網がけの状態)

「什器」を追加・削除するには

- 【移動(左へ)】 選択中の什器を左へ移動します。
- 【移動(右へ)】 選択中の什器を右へ移動します。
- 【挿入(左へ)】 新しい什器を選択中の什器の左へ挿入します。
- 【追加(右へ)】 新しい什器を最右端へ追加します。
- 【削除】 選択中の什器を削除します。
- 【変更】 入力された什器の情報を登録します。

【棚段】の各項目の登録

操作選択タブの【棚段】をクリックします。

- 棚の高さ ミリメートル単位で指定します(10～)
- 棚の奥行 ミリメートル単位で指定します(10～)
- 棚の板厚 ミリメートル単位で指定します(10～)
- 棚の板色 色コードを指定します。(省略時、黒)
- 【変更】 入力された棚段の情報を変更します。

「棚段」を追加・削除します

次の各操作の前に、あらかじめ棚段の空間の一部をクリックして、棚段を選択中におきます。

- 【移動(下へ)】 選択中の棚段を下へ移動します。
- 【移動(上へ)】 選択中の棚段を上へ移動します。
- 【追加(上へ)】 新しい棚段を最上段へ追加します。
- 【挿入(下へ)】 新しい棚段を選択中の棚段の下へ挿入します。
- 【入替】 選択中の棚段の商品の左右を入れ替えます。
- 【削除】 選択中の棚段を削除します。
- 【一括】 棚段のサイズを一括して変更します。

10 商品陳列の操作

棚段にのせる商品を選択します。

操作選択タブの「デザイン」をクリックします。

大分類、または中分類をクリックします。

下の枠にメーカー名が表示されます。

商品全体を表示する場合は、「《全体》」を選択します。

+『プラス』と黄色の『ブックアイコン』と『メーカー名』が表示されるので、プラスをクリックすると、商品名が表示されます。-『マイナス』をクリックすると、閉じます。

商品名をクリックして、商品を選択します。

商品を棚段に陳列します

商品名をドラッグして棚段にドロップします。

ドロップ以外に次の3通りの方法でも陳列できます。

1. 棚段の空間(商品が陳列していない部分)をクリックして棚段を選択状態にします。棚段全体が赤い枠で囲まれます。商品をダブルクリックします。
2. 棚段の空間をクリックして棚段を選択状態にします。次に商品をクリックして【棚へ】をクリックすると商品が陳列されます。
3. 「商品」タブの「一覧」ボタンをクリックして、「商品一覧表」画面の中から「商品」をドラッグ&ドロップする。

商品を床へ並べます

商品名をクリックして、【床へ】をクリックします。商品名をダブルクリックしても同じです。

床から棚段に商品を陳列するには、床の商品をマウスでドラッグして棚の中にドロップします。商品は棚段の間口(横幅)を超えて商品を並べることはできません。

棚陳列した商品のフェイス数を増加、または減少させます

商品をクリックして点滅させます。【フェイス+】をクリックするとフェイス数が+1されます。逆に【フェイス-】は-1されます。+キー、-キーでも可能です。

陳列した商品を並べ替え、他の棚段に移動します

商品をドラッグ、ドロップして移動させることができます。

【入替】をクリックすると、棚段の商品を左右逆に入れ替えます。

商品の積段数を増加・減少します

操作選択タブの【商品】をクリックします。

さらに、商品をクリックして選択します。

商品情報が右に表示されます。積段数の入力枠に2以上を入力して【更新】をクリックすると、商品が重なって表示されます。

商品の陳列面を変更します

商品は通常の場合、左右の方向に、商品の「横」が、上下の方向に商品の「縦」が表示されます。これが「横」を指定した場合は。

次に、商品を倒した状態の場合、「縦」を選択します。

次に、商品が横向きの状態の場合、「奥」を選択します。

画像の表示は、1枚の画像が陳列面が正面を向くように伸縮されて表示されます。

陳列されている商品を削除します。

操作選択タブを【デザイン】にします。さらに、商品画像をクリックして商品を点滅します。

【削除】をクリックすると削除されます。

右クリックのメニューからでも削除ができます。

削除 (Delete) キーでも削除できます。

選択中の商品を解除します。

商品が点滅している状態(選択中)を解除するには、操作選択タブを【デザイン】にします。

【解除】をクリックすると選択が解除されます。
棚段の中の商品以外の場所をクリックしても解除されます。

(注意)

商品の積段数が棚段の高さを超えた場合は、画像は圧縮されて表示されます。
商品の横幅が棚段(什器)の横幅を超えた場合は、移動や陳列をしようとしても、陳列されません。

棚段を移動します。

棚段全体を移動するには、商品以外の場所をクリックして棚段を選択します。
マウスでドラッグして移動してドロップします。

右クリックの操作

【フェイス+】【フェイス-】【削除】などの操作は右クリックのポップアップメニューからでも行えます。

【積段+】【積段-】商品を上へ積上(下)げます。

【削除左】【削除右】選択した商品の左(右)側をすべて削除します。

【横陳列】【縦陳列】【奥陳列】陳列面を変更します。

キーボードの操作

Delete: 削除、+: フェイス増、+: フェイス減、Ctrl+Z: 戻す、Ctrl+S: 解除 の各キー。

(注意)

商品の積段数が棚段の高さを超えた場合は、画像は圧縮されて表示されます。
商品の横幅が棚段(什器)の横幅を超えた場合は、移動や陳列をしようとしても、陳列されません。

11 画面への表示倍率の設定

ディスプレイ画面の大きさに合わせて、画面の表示サイズや表示倍率を変更できます。

画面の表示は、ディスプレイの大きさに合せて、使いやすい設定にしましょう

メニューの【画面】から【1024x】または【1280x】をクリックして、適当なサイズを選択しましょう。

設定は、画面の解像度に合わせる必要はありません。

画面への表示倍率は、10%から100%まで選択できます

数字が大きくなるほど、文字や画像が大きくなります。

画面のサイズが【1024x】の場合は40%がお勧めです。

【1280x】の場合は60%がお勧めです。

棚の高さは画面全体の縦の大きさです。

2m・3m・4mの中から什器の高さを選択します。2mに指定すると2mの棚が表示できます。印刷時にもこの設定が有効になります。

マイモードへの登録

メニューの【オプション】の画面にて、画面の解像度、倍率を指定しておくことにより、【マイモード】をクリックすれば、すぐに設定値に戻すことができます。

12 オプション

画像 台帳 図表 3Dモーション マイモード デフォルト その他

画像

画像の拡張子(※1) 指定できる拡張子の種類は、BMP、JPG、GIF、WMF、PNG です。
ファイルの標準フォルダ 商品・メーカー・什器・棚段などの情報は1つのファイル(〇〇〇.DB)として、指定したフォルダの中に保存します。

商品の画像の標準フォルダ 商品画像を保存します。

POP の画像の標準フォルダ POP 画像を保存します。

(※1)

商品に画像を結びつけるには、商品の登録時に画像ファイルを指定する方法の他に、画像ファイル名を指定しないで、JANコードを画像ファイルとして間接的に指定する方法があります。

JANコードと、この画面で指定する「拡張子」を組合せて画像ファイル名にします。

拡張子は、標準ではJPGですが、この画面で設定を変更することもできます。

画像ファイルを間接的に指定するには、棚割用のフォルダに、次のように入れます。

C:¥棚割 n@vi¥PIC の中に、4901001030972.jpg の画像ファイルを入れておきます。

台帳

台帳の管理方法を選択します。

1. 商品台帳・メーカー台帳・大分類・中分類、POP の各台帳を「各ファイルの台帳を参照する」または「共通の台帳を参照する」を選択します。

2. 「共通の台帳を参照する」を選択した場合は、DBファイルを指定します。

共通の台帳を作成すれば、商品台帳やメーカー台帳をファイルごとに作成する手間がかからないのでメンテナンスが容易になります。

3. データファイルの中で台帳ファイルを指定する(個別指定)

図表

「キャンバスの高さ」1.5m/2.0m/2.5m/3.0m/3.5m/4.0m の中から棚の高さに応じてキャンバスの高さを指定します。

「棚割図」「棚割表」「3D棚割図」「ABC分析図(金額別)」「ABC分析図(数量別)」

「ABC分析図(粗利益別)」「スペース分析図」に印刷する項目を指定して印刷します。

図表の文字サイズを選択して、フォントサイズを変更して印刷できます。

作成日の印字の有無を指定します。

「ABC分析図」「構成比分析(大分類、中分類)」のランクの割合や、什器別か全什器を表示するかを指定できます。

マイモード

オプションの中で、マイモードの設定をしておくことによりメニューやツールバーから【マイモード】をクリックすれば、すぐに設定値に戻すことができます。

デフォルト

什器や棚段を追加・挿入する場合に、サイズや色を指定します

その他

自動保存

ここにチェックを入れておくと、作成中のファイルを約5分毎に保存します。

バーコードのチェックをしない。

商品コード(バーコード)のチェックディジットをチェックしない場合にチェックします。

商品件数を表示する。「表示しない」を選択すると商品台帳をカウントしないので、処理スピードが速くなります。

棚割n@viフォルダ作成。サンプルデータを「C:\¥棚割n@vi」にコピーします。

13 メーカー名の登録

メーカーの登録は、画面からの登録と、テキストファイルからの登録ができます

画面から登録する方法

メニューの【メーカー登録】をクリックします。

メーカーコード(9桁以内)とメーカー名(50字以内)を入力します。

データの削除をするには削除したい行の左端(灰色の部分)をクリックして、削除(Delete)キーを押します。

追加するには、最下行に入力します(途中の行に挿入はできません)

変更するには、マウスで変更したいセルをクリックします。

テキストファイルから登録する方法

メニューから【インポート】をクリックします。

テキストファイルはメモ帳やテキストエディタで作ります。

項目間の区切りには、カンマ(,)を入れます。

文字をダブルコーテーション(“)で囲む必要はありません。

ファイル名の拡張子は、CSV又はcsvとします。

ご注意

インポートで登録する場合、当システムは各項目の妥当性のチェックはおこないません。

他のマスタとの整合性がとれないような変更をした場合はシステムが不安定になることがありますのでご注意ください。

従って、あらかじめチェックをして登録することをお勧めします。

14 分類名の登録

大分類名と中分類名の登録は、画面からと、テキストファイルからの登録ができます。大分類名と中分類名の登録方法は同じです。以下大分類について説明します。

画面から登録する方法

メニューの【大分類登録】をクリックします。

大分類コード(数字9桁以内)と大分類名(10文字まで)を入力します。

データの削除をするには削除したい行の左端(灰色の部分)をクリックして、削除(Delete)キーを押します。

追加するには、最下行に入力します(途中の行に挿入はできません)

変更するには、マウスで変更したいセルをクリックします。

テキストファイルから登録する方法

メニューから【インポート】をクリックします。

テキストファイルはメモ帳やテキストエディタで作ります。

項目間の区切りには、カンマ(,)を入れます。

ファイル名の拡張子は、CSV又はcsvとします。指示に従って、インストールします。

ご注意

インポートで登録する場合、当システムは各項目の妥当性のチェックはおこないません。

他のマスタとの整合性がとれないような変更をした場合はシステムが不安定になることがありますのでご注意ください。

従って、あらかじめチェックをして登録することをお勧めします。

「商品」を登録します

操作選択タブの【商品】をクリックします。

JANコード 8桁または13桁で指定します。

商品名 日本語25字以内で指定します。

メーカー 登録されているメーカーを選択します。

大分類・中分類 登録されている分類を選択します。

横 ミリメートル単位で指定します(10～)

縦 ミリメートル単位で指定します(10～)

奥 ミリメートル単位で指定します(10～)

陳列面 商品の「横」を陳列幅とする場合「横」を指定します。

その他「縦」「奥」を指定します。

積段 1以上を指定します(省略時1とします)

奥数数 1以上を指定します(省略時1とします)

吊下げ 「置く」「吊下げ」「指定」を選択します(指定の場合、長さを次に指定します)

下がり指定 「指定」の場合、吊り下げの長さをセンチメートルで指定します

売価(以下省略可)、原価、売上数、売上金額、粗利益

商品コード 20桁以内で指定します。

棚割表色 表の背景色を指定します。

画像ファイル名 省略した場合、JANコードのファイル名を参照します。

※「画像ファイル名」が指定された場合、直接画像ファイルを表示します。

「商品」を変更、削除する前に次のどれかの方法で商品を選択して

おきます

- (1)操作選択タブの【商品】から【一覧表】をクリックする。
- (2)操作選択タブの【デザイン】から商品名をクリックし、すぐに、操作選択タブの【商品】をクリックする。
- (3)左の棚割画面の中の商品の画像をクリックする。

商品の登録には、画面からの登録の他に、テキストファイルやエク

セル表から登録することができます

メニューから【インポート】をクリックします。

テキストファイルはメモ帳やテキストエディタで作ります。

項目間の区切りには、カンマ(,)を入れます。

文字をダブルコーテーション(“)で囲む必要はありません。

ファイル名は自由ですが、拡張子は、CSV又はcsvにします。

ファイルのレコード形式を次に示します。

「JANコード、商品名、メーカー、横、縦、奥、売価、原価、売上数量、売上金額、粗利益、大分類、中分類、画像ファイル名(パス名とファイル名を、英数日本語で50桁まで)

(例)

```
49698176,博多ラーメン,111,160,170,60,  
30,30,50,60,3000,2,21,C:¥棚割n@vi¥PIC¥  
hakatamen.jpg
```

※JANコードの前後に空白があると読み込みができないことがあります。

※エクセルのJANコードのセル書式設定は「数値、符号なし」に設定します。

ご注意

インポートで登録する場合、当システムは各項目の妥当性のチェックはおこないません。他のマスタとの整合性がとれないような変更をした場合はシステムが不安定になることがありますのでご注意ください。

従って、あらかじめチェックをして登録することをお勧めします。

「画像」を登録します

「画像」は、次の2通りの方法で指定できます。

(1)直接指定 入力枠に画像ファイル名をパス名付きで指定します。

【画像】をクリックしてファイルを検索することもできます。

(2)間接指定 入力枠の画像ファイル名は「空白」にしておきます。

画像ファイルはJANコードをファイル名にして作成し、起動時に指定した【ファイルと画像の標準フォルダ】に入れます。

当ソフトは画像ファイル名の指定が空白の場合、JANコードで画像を探して表示します。

例えば、4901001030972.jpg の画像ファイルを入れておきます。

メニューバーのオプション画面で拡張子.jpg を登録します。

(3)3方向からの画像 4901001030972.jpg は通常正面からの画像ですが、4901001030972A.jpg のように“A”を追加すると横から、“B”を追加すると上からの画像になります。

このような画像を準備しておくとき「陳列面」が指定できるようになります。

「画像」ファイルの種類(拡張子)について

拡張子がBMP、JPG、GIF、WMF、PNG等の各ファイルが有効です。

サイズは10～20KB程度にしてください。

サイズが大きくなると表示時間が遅くなります。

一般的に、デジタルカメラ等の画像サイズは圧縮前が300KBを超えていますので、このままでは大きすぎて使用できません。

「ちょっと切貼り」機能を使用して画像を小さくしておくことをお勧めします。

この章は、POPの登録の方法を説明します

操作選択タブの【POP】をクリックします。

あらかじめ、画像ファイルを準備しておきます。

画像ファイルの大きさは次のサイズになります。

横 ミリメートル単位で指定します(10~2000)

縦 ミリメートル単位で指定します(10~2000)

拡張子は商品画像と同じにします。

POP画像をいれておくフォルダを登録します。

- (1)メニューの【設定 - オプション】から【画像】タブをクリックする。
- (2)「POP画像の標準フォルダ」をPOP画像を入れておくフォルダを選択する。
- (3)「戻る」をクリックする。

POPをマスタに登録します。

- (1)操作選択タブの【POP】から【画像】をクリックする。
- (2)画像ファイルを選択して「開く」をクリックする。
- (3)メッセージ「追加しますか？」が出たら「はい」をクリックする。
- (4)サイズは初期値がセットされますので、必要に応じて変更します。
- (5)変更する場合は、POP一覧表の中から選択して、横・縦を入力して、「変更」をクリックします。「終了」をクリックします。

17 インポートとエクスポート

インポート機能を使用して、外部データを組込むことができます

テキスト形式やエクセル表のデータを読み込んで、メーカーや大分類、中分類、商品などを登録することができます。

それぞれのデータの項目の順番通りにメモ帳などでテキストを作っておきます。

右の例は大分類データのテキスト例です。(付録のフォーマットを参照)

項目間の区切りには、カンマ(,)を入れます。

テキストファイルの拡張子は、半角でCSVにします。

エクセル表は先頭のシートから読み込みます。

先頭行が「見出し」の場合は、判断して読み飛ばします。

区切りのカンマの前後に空白があるとデータの一部と見

なします。JANコードの前後や大分類の前後には空白を入れるとエラーになりますので注意してください。

1.洗 剤
2.菓 子
3.パ ン
4.日用品
5.化粧品

エクスポート機能を使用して、内部データをテキストに出力する

ことができます

商品情報やメーカー、大分類の情報を他の売場のファイルに複写したい場合に便利です。

「棚割データ」をエクスポートするとエクセルなどの表計算ソフトで読み込んで加工することができます。

「見出し付き」を選択すると、先頭行に「見出し」を出力します。

エクセル作成機能を使用して、エクセル表を作成できます

※棚割データから色々な形式でエクセル表を作成します。

棚割表: 1シートに1什器の表データを作成します。

棚割表(画像): 画像付きで棚割表データを作成します。

棚割表(実寸): 実寸に近い画像付きで棚割表データを作成します。

棚割図: 棚割図に近い棚割データを作成します。

棚割データ: 棚割データを作成します。

※マスタから、エクセル表を作成します。

メーカーデータ、商品データ、大分類データ、中分類データ、POP データ、商品一覧データ

※「見出し付き」を選択すると、先頭行に「見出し」を出力します。

(注意)エクセル作成機能は、あらかじめ PC にエクセルがインストールされている必要があります。

データベース最適化で、ファイルをコンパクトにできます

データファイルはレコードの削除を繰り返し行くと、ファイルが肥大化します。ファイルをコンパクト化することにより、実行速度が向上します。

【棚割図】【棚割表】【3D棚割図】【ABC分析表】【3Dモーショ

表示メニューから「棚割図(デザイン)」「棚割図(中央)」「棚割図(右寄せ)」「棚割表」「3D棚割図」「ABC分析図」「スペース分析図」「構成比分析(大分類、中分類)」「3Dモーシ

ョン」等を表示できます。元の画面に戻すには「棚割図(デザイン)」を選択します。

分析図を表示するためには、データが必要です。

商品毎にそれぞれの図表に必要なデータを入力します。

操作選択タブの【商品】をクリックします。

「一覧表」を選択して、【OK】をクリックします。下の枠の中に商品情報が表示されます。

次の方法でも表示ができます。

操作選択タブの【デザイン】をクリックして商品を選択クリックし、すぐに【商品】タブをクリック

すると商品の情報が表示されます。

売価、原価、売上金額、売上数量、の各項目にデータを入力して【変更】をクリックしま

す。

分析図のデータの表示

「ABC分析図(金額・数量・粗利益別)」は、売上金額・数量・粗利益を基に、偏差値を計算し、数字にABCのランクをつけ表示します。

「スペース構成分析図」売上金額と商品サイズを基に、1立方センチメートル当りの偏差値を計算し、ABCランクをつけます。

「構成比分析(大分類、中分類)」商品の横サイズ×棚段の高さの面積を基に大中分類別に集計し、面積の順位をつけ表示します。

上記分析図を「什器別」に分析表示するには「オプション」の図表タブの「什器別」にチェックをつけます。「全什器」をまとめて分析表示するにはチェックをはずします。

3Dモーシ

什器を立体的に動かして見ることができます。オプションで什器の材質を選択ができます。キーやマウスを使用して動かしてみることもできます。

棚割図表を印刷するにはメニューの【印刷】をクリックします。

「図表」の中から図表名を選択します。「什器」の中から什器名を選択します。

1. 「棚割図＋棚割表」 同一ページに棚割図と棚割表を印刷します。ただし、什器名の「全体」を選択した場合は、2ページにまたがって、印刷されます。
2. 「棚割図(左寄せ)」「棚割図(中央寄せ)」「棚割図(右寄せ)」を選択した場合は、次の什器名の中から「全什器を1枚に印刷」「什器ごとに印刷」「全什器を別々に印刷」を選択して印刷できます。
3. 「棚割表」を選択した場合は、棚割図と同じように、什器が選択できます。

「棚割表」の印刷内容は、「設定」メニューの「オプション」の「図表」タブの中で、出力する項目や文字のサイズ等を設定することができます。

商品に背景色を設定しておけば、商品を強調することができます。

4. 「3D棚割図」を選択した場合は、棚割図と同じように、什器が選択できます。
5. 「比較棚割図表」「比較棚割表」は、2つの棚割ファイルと比較して相違点を表示します。この場合「比較ファイル名(db)」を入力する必要があります。
6. 「ABC分析図(金額別)」「ABC分析図(数量別)」「ABC分析図(粗利益別)」「スペース分析図」は、商品マスタの金額や数量、粗利益を元に分析表を作成します。
7. 「構成比分析」は、このソフトでは特徴的な図表です。陳列商品の大分類別、中分類別に全体での構成比を表示するので、商品マスタの金額や数量は入力しなくても分析ができます。
8. 「商品リスト 4 列 X5」「商品リスト(5X5)」は、プライスカードと同じように「バーコードの種類」が選択できます。また、商品の「大分類」「中分類」を選択することができます。
9. 「商品一覧表プレビュー(A4)」は、商品の一覧表です。登録されている商品のチェックができます。また、商品の「大分類」「中分類」を選択することができます。
10. 「プライスカード」は陳列されている商品のプライスカード(値札)を印刷します。
棚割図と同じように、什器が選択できます。また、「バーコードの種類」が、JAN(13 桁、8 桁)、CODE39(15 桁以内)の中から選択できます。

印刷プレビュー

「図表印刷」の結果がプレビュー画面表示されます。拡大、縮小やページ移動ができます。この画面から印刷することができます

「什器名」の中から什器名を選択します

棚割図、棚割表、ABC分析図を印刷する場合、什器を選択することができます。

「全什器を1枚に印刷」を選択すると、同一ページに全部の什器を印刷します。

「全什器を別々に印刷」を選択すると、別のページに全部の什器を印刷します。

「什器名」を選択すると、選択した什器を印刷します。「什器名」は什器タブの設定画面で名付けられた名前が表示されます。

「プリンタの設定」をします

「プリンタ名」の中から印刷するプリンタを選択します。

「印刷サイズ」の中から用紙を選択します。

「印刷向き」の中から用紙の向き(縦、横)を選択します。

「全体の拡縮」「行間隔の調整」「フォントサイズ」「フォント名」を選択します。

【印刷】をクリックして、印刷を実行します

設定されたプリンタに印刷されます。

このソフトは、デジタルカメラなどで撮った画像から、切り貼りして、拡大・圧縮して、新しい画像ファイルが作成できます。

元になる画像を指定します

入力画像ファイル側に画像ファイルを入力して、リターンキーを押すか、【開く】で画像ファイルを選択します。

画像ファイルの拡張子は、BMP、JPG、GIF、WMFです。

画像を切り取ります

元になる画像が表示されたら、切り取りたい画像の左上を、マウスでクリックします。

次に右下に向かってドラッグします。

マウスボタンを離れた時、切り貼りされた画像が右側に表示されます。

出力形式と画像サイズを指定して保存します。

出力形式は、BMP、JPGが指定できます。JPGの場合は、サイズはBMPIに比べて小さくなります。

画像サイズは、10KB～が選択できますが、このサイズはBMPを基準にしていますので、JPGの場合小さくなります。

このサイズはあくまで目安の数字ですので、実際のファイルのサイズとは異なります。

JPGはBMPと比べて、ファイルのサイズは小さくなりますが(約10～20分の1)、画面への表示時間は、BMPIに比べて解凍処理が有る分、遅くなります。

明るさやコントラストを調整します。

画像の明るさやコントラストが0～50の範囲で調整できます。

什器の最大数

1つのファイルの中に指定できる什器は、最大30台までです。
ただし、什器の間口の合計は 6000mm までです。
什器は間口(幅)5m、高さ4mまでです。

棚段の最大数

1つの什器の中に指定できる棚段数は、最大20段までです。

陳列商品の最大数

1列の棚段の中に指定できる商品は、最大50個までです。
登録しておける商品数には制限はありませんが、2000件を超えると処理速度に影響が出ることがあります。

床におく商品の最大数

一時的に、床におくことのできる商品は、最大20個までです。

大分類コードの最大数

大分類コードは9桁以内で指定します。

中分類コードの最大数

中分類コードは9桁以内で指定します。

メーカーコードの最大数

メーカーコードは8桁以内で指定します。
最大5000件まで登録ができます。

ファイルと画像の存在するパス名(フォルダ名)

ファイル(拡張子DB)と画像の存在するフォルダは初期画面で設定します。
初期値ではファイルが C:\棚割 n@vi¥DATA 、画像は C:\棚割 n@vi¥PIC です。

商品台帳

No.	項目名	データ型	桁数	備考
1	JANコード	テキスト型	13	
2	商品名	テキスト型	50	
3	メーカー	長整数型		
4	横	整数型		
5	縦	整数型		
6	奥	整数型		
7	売価	浮動小数点型		
8	原価	浮動小数点型		
9	売上数量	浮動小数点型		
10	売上金額	長整数型		
11	粗利益	長整数型		
12	大分類	整数型		
13	中分類	整数型		
14	イメージ	テキスト型	100	画像ファイル
15	商品コード1	テキスト型	20	
16	商品コード2	テキスト型	20	
17	商品コード3	テキスト型	20	
18	発注点	長整数型		
19	発注単位	長整数型		
20	予備1	長整数型		
21	予備2	長整数型		
22	予備3	長整数型		

メーカー台帳

No.	項目名	データ型	桁数	備考
1	メーカー	長整数型		
2	メーカー名	テキスト型	50	

大分類

No.	項目名	データ型	桁数	備考
1	大分類	長整数型		
2	大分類名	テキスト型	50	

中分類

No.	項目名	データ型	桁数	備考
1	中分類	長整数型		
2	中分類名	テキスト型	50	

POP台帳

No.	項目名	データ型	桁数	備考
1	POP ファイル名	長整数型		
2	横	整数型		
3	縦	整数型		
4	イメージ	テキスト型	100	

プログラムフォルダ

標準では次の場所にインストールされます。

C:\Program Files\tananvdb\

データファイルのフォルダ

データファイルとは拡張子が「DB」のファイルです。

初期画面で設定変更ができます。標準では次の場所に設定されます。(※1)

C:\棚割n@vi\DATA\

このフォルダは、「インポート」「エクスポート」のデータの保存にも使用します。

商品画像ファイルのフォルダ

画像ファイルとは拡張子が「JPG」「BMP」「GIF」「WMF」などのファイルです。

初期画面で設定変更ができます。標準では次の場所に設定されます。(※1)

C:\棚割n@vi\PIC\

このフォルダは、「画像の保存」「3Dモーションの仕器の材質」の画像にも使用します。

POP画像ファイルのフォルダ

POP画像ファイルとは「半額.jpg」「半額.jpg」などのファイルです。

初期画面で設定変更ができます。標準では次の場所に設定されます。(※1)

C:\棚割n@vi\POP\

※1 本ソフトのバージョンにより、変更される場合があります。

製品について

Q 「お試し版」と「正式版」について教えてください。

A 「お試し版」の試用期間は1ヶ月です。この間ほとんどの機能を体験できます。

1ヶ月を過ぎると使用できなくなります(ユーザー登録のみが可能です)

試用期間中は、印刷用紙に「試用版」の文字が印刷されます。

また、「お試し版」にはデータの表示件数や新規登録などに制限があります。

正式登録していただくと、「お試し版」は「正式版」としてご使用できます。

Q 動作OSと環境条件を教えてください。

A 下記の環境で動作します。

◆Microsoft Windows Vista/7/8/8.1/10 が動作する CPU(32bit/64bit)

◆Vista/7/8/8.1/10 が動作する RAM

◆ハードディスクはインストール時に約17MB必要。

「ダイレクトエックス」に約1.1GB必要。

「マイクロソフトフレームワーク」に約200MB必要。

画像やデータの作成に20MB以上推奨(画像ファイルは1つが約5KBですので商品数を掛けます)

◆1024×768以上の解像度、256色以上

◆プリンタは印刷時 A4 版以上が印刷可能なカラープリンター推奨

◆通常販売されているハードウェアで十分ですが、強いて言えばCPUのスピードが早いものが良いでしょう。

Q 講習会などは開かれていますか。

A このソフトは企業が棚割に必要な機能を最小限に絞って、解りやすく作成してあります。

ワープロや表計算ソフトの基本機能ができる方を対象に、操作を統一化しています。

従って、特に「講習会」や「ビデオテキスト」などは、不要と思います。

「ワープロの基本操作」+「本ソフトの説明書(Help と同一)」+貴社の取扱商品知識があれば、十分です。

Q 複数台のパソコンにインストールして使用する場合の購入数について教えてください。

A インストールは、ご購入者のご使用になる範囲で、複数台にインストールができます。

バージョンアップは無料です。ホームページから最新版をダウンロードしてください。

※ソフトのサポートは、最初にインストールした1台(メインコンピューター)に限らせていただきます。ご購入時にパソコンのメーカー名、インストール予定台数をお知らせください。

インストールと起動について

Q パソコンが壊れて新しくインストールしなおしましたが、パスワードがエラーになります。

A 新しいパスワードが必要です。理由を書いて、メールすれば新しいパスワードが送られてきます。

■ランタイムのインストールについて。

『棚割n@vi3D』の実行には「マイクロソフトフレームワーク」と「ダイレクトエックス」のランタイムが必要です。

Windows7 には始めから「マイクロソフトフレームワーク 2.0/3.0/3.5」がインストールされていますが、それ以外には入っていないので必要になります。

通常インストール時に自動的にインストールされるチェックマークが出ますが、あとから手動でインストールすることも可能です。

(手動でインストールする場合)

(1)「ドットネットフレームワーク」のインストールには、スタートメニューから「棚割n@vi3D」の中の「.NET Framework インストール」を実行する。

(2)「ダイレクトエックス」のインストールは、スタートメニューから「棚割n@vi3D」の中の「DirectX インストール」を実行する。

台帳関連

Q 商品を別の売り場で使うことができますか。

A 台帳の共有機能があります。

この機能を使用すれば、台帳(メーカー、商品、大分類、中分類)を共有して使用できます。詳細は説明書を参照。

別の方法として、エクスポートでテキストに出力して、インポートで登録すると他の台帳が流用できます。

Q EXCEL表の商品を登録できますか。

A 当製品で読み込み可能なフォーマットであれば登録ができます。

あらかじめ決められた順に、項目間がカンマで区切られた形式であれば登録ができます。

詳しくはマニュアルのインポート・エクスポートの項を参照。

Q 商品データのインポートができません。(他のマスタはできます)

A データの順番が違っていたり、項目が不足していませんか。

一度、エクスポートして、出力した内容と比べてみてください。

(参考データ Version3.04)

4514603028515,"中華丼の具2個入",1,180,120,130,90,48,3,1200,0,1,5, , , ,0,0,0,0,0

4901001003570,"えびと野菜のかき揚げ",1,170,120,120,90,48,4,1200,0,1,5, , , ,0,0,0,0,0

Q 商品のバーコードの最終桁のチェックをしないようにしたい。

A 「オプション」の中で「バーコードのチェックをしない」モードを選択できます。

Q 陳列した棚をEXCEL表にして加工したいのですが。

A 棚割データをエクスポートすれば、EXCEL で読んで自由に加工することができます。

Q EXCEL でJANコードを読んだ場合、JANコードの表示が「4. 97E+12」になる場合があります。

この場合、セルの書式を「標準」から「数値」に変更すれば正しい表示になります。

Q 棚割台帳を出力できるようにしてほしい。

A 棚割台帳をエクスポートできるようにしました。

Q エクスポートのデータに見出しをつけてほしい。

A エクスポートのデータに見出しを追加しました。

Q メーカーコードの桁数を6桁にしてほしい。

A メーカーコードの最大桁数を6桁にしました。

Q 大分類中分類コードの桁数を4桁にしてほしい。

A 大分類と中分類コードの最大桁数を4桁にしました。

Q 商品マスタが10万件以上あるのですが使用可能でしょうか？

A 使用可能です。データベース版では商品データの読み込みに関して速度改善をしています。また、大分類や中分類を細かく分類して、一度に表示される商品件数を減少させることでも処理時間を短縮できます。

Q 現在は、各DBごと または 1つの台帳 の2つしか選択できず使いづらいので各DBを開く際に参照する台帳を選択できるようにすれば便利です。商品は共通でも、客先によって価格は違う可能性があるので、価格を変えた台帳を数種類用意しておきたいのです。

A DBファイルから台帳用DBファイルを指定できるようにしました。

これにより、商品単価が異なる商品台帳を複数持つことができます。

設定は、設定メニュー→オプション→台帳→3.データファイルの中で台帳ファイルを指定する(個別指定)にします。

データファイルを開いて、「売場」タブの「台帳の参照先」にDBファイルを指定します。

Q インポートでエクセルで作った表から登録することは可能でしょうか？

A 可能です。インポートで「エクセル表」を直接読み込む機能を追加しました。

デザイン操作関連

Q 画像画面に何も表示されなくなった。

A 什器、棚段、商品が異常に大きい場合や、小さ過ぎる場合に発生します。什器、棚段のサイズの調整をして下さい。

Q 画像の解像度をコントロールパネルの画面の設定に合わせる必要がありますか。

A 解像度に合わせる必要はありません。使いやすい設定にしてご使用ください。

Q 売場が複数ある場合は、売場ごとにファイルを作成する必要がありますか。

A はい、売り場ごとにファイルが必要です。ただし、台帳は1つのファイルで運用することができます。

Q 試用版の操作を少しさせて頂きましたがひとつの棚での商品の重ね積みはできますか。

A 段数を指定して商品を積み重ねができます。

Q 棚と棚とをまたいで陳列させたい場合、作図可能か。

A 棚の間口を越えて陳列できるようになりました。

Q 棚のサイズ設定はできますか。

A 棚の間口サイズは、設定画面ではクリックする毎に標準的なサイズを表示するようにしています。もちろん直接数字を入力することにより任意に設定可能です。

Q 平台へ積み重ねて作図したい。

A バージョン3.04から平台をサポートします。商品を積み重ねて作図ができます。

(注意)以前のバージョンで作成したデータベースは、変換処理が必要ですので、メニューの変換処理を実行してください。

Q POPをかざることはできますか。

A バージョン3.11からPOPの陳列ができます。POPの陳列ができます。(棚台のみサポート、平台を除く)

操作は商品の陳列と同じように、あらかじめPOPの画像ファイルを作っておきます。

画像ファイルをPOP台帳に登録して、商品と同じように、マウスでドラッグ & ドロップで移動できます。

Q 陳列した棚割をエクセル表にとりこんで加工したい。

A バージョン3.11からエクスポートでエクセルで読める棚割データが作成できます。

Q 陳列した商品のデータファイル(db)を直接変更したいのですが。

A あまりすすめられませんが、データファイルを直接変更する画面をご用意しました。

「陳列台帳」画面でデータを表形式で直接変更です。他のマスタとの整合性がとれないような変更をした場合はシステムが不安定になることがありますのでご注意ください。

Q 商品画像を複数選択しての作業(削除、コピー、移動など)ができるようにしてほしい。

A 当ソフトの設計上できません。1つ毎の選択でお願いします。

Q 商品マスタに画像を登録せずに棚割作成できないか？

A 可能です。画像の登録がされてない場合や画像が指定されたフォルダに存在しない場合は、商品名がデザイン画面に表示されて棚割が作成できます。

Q 常に商品写真を棚に挿入すると左端からになります指定している棚内の自由な場所に挿入することは無理なんでしょうか？

A 棚の商品を選択して、「棚へ」で陳列すると商品が挿入できるようにしました。

Q 商品マスタに画像を登録せずに棚割作成できないか？

A 可能です。画像の登録がされてない場合や画像が指定されたフォルダに存在しない場合は、商品名がデザイン画面に表示されて棚割が作成できます。

Q 常に商品写真を棚に挿入すると左端からになります指定している棚内の自由な場所に挿入することは無理なんでしょうか？

A 棚の商品を選択して、「棚へ」で陳列すると商品が挿入できるようにしました。

Q 商品サイズを登録しなくても、棚を均等に陳列ができるようにしてほしい。

A 均等割付モードを追加しました。画像が無い場合や商品サイズが不明の場合に使用すると便利です。

Q 吊り下げ陳列ができますか？

A できます。棚割画面の中の吊り下げにしたい商品を選択状態にします。「商品」タブを表示して「吊り下げ」を「置く」から「吊り下げ」にします。「変更」ボタンをクリックします。「指定」にすれば、「下がり指定」欄に吊り下げの長さを1センチ刻みで指定できます。

Q 商品を寝かせて陳列することはできますか？

A できます。棚割画面の中の横置きにしたい商品を選択状態にします。「商品」タブを表示して「陳列面」を「横」から「縦」にします。「変更」ボタンをクリックします。この場合縦置き
の画像をあらかじめ用意する必要があります。画像ファイル名は、横が 49111111111111
の場合、49111111111111A とします。

Q 陳列した棚段を別の Gondola に移動させることはできますか？

A できます。棚段全体を選択状態にします(商品の陳列していない空白部分をクリック)
マウスで別の棚段にドラッグします。

Q 商品陳列した棚段を別の Gondola に移動させることはできますか？

A できます。棚段全体を選択状態にします(商品の陳列していない空白部分をクリック)
マウスで別の棚段にドラッグします。

Q 商品写真を棚に挿入すると、陳列した商品の右になりますが、指定した棚内の自由な
場所に挿入できませんか？

A 棚割画面の商品を選択した状態で「棚へ」をクリックすると、選択した商品の前に挿入
することができます。

Q 棚段を挿入すると、デフォルトの高さや奥行きの棚段が追加されます。このデフォルト
を変更する方法はありますか？

A 什器・棚段の追加時の間口・高さなどのデフォルト値を設定できるようにしました(設定
メニュー→オプション→デフォルトタブ)

Q いくつも棚を作っておいて、一度に棚のサイズを変更する方法はありますか？

A 棚段のサイズを一括して変更できるようにしました(「棚段」タブ→「一括」)

Q POP 新規を登録するのに JPG の画像を挿入したのですが、登録後 画像が出力され
ません。

A 次のようにして登録してください。

1. 画像ファイルが、POP というフォルダに入っていない場合。
2. POP ファイル名と横、縦、を入力して「変更」をクリックすると、右側の一覧表に表示
されます(「画像」ボタンで画像を選択しても良い)一覧表に POP ファイル名が表示され、画
像も下に表示されれば OK です。

Q 什器の数を増やしてほしい。できれば無制限にしてほしい。

A 什器の最大数を 10 から 30 に拡大しました。

Q 棚割データのインポートができるようにしてほしい。

- A インポートに「棚割データ」機能を追加しました。注意事項は次の通りです。
- (1)「棚割データ」インポートのレイアウトは棚割データエクスポートと同一です。
 - (2)「棚割データ」の整合性が無い場合はシステムが不安定になることがありますので、インポート前に十分なチェックが必要です。
 - (3)「棚割データ」には売場名、什器や棚段のサイズは、標準値で登録されますので、見直しが必要です。
 - (4)「棚割データ」には商品のフェース数はすべての商品は1で登録されます。
- Q 棚への商品の追加なのですが、現在のボタンを押すのよりもドラッグ&ドロップで追加できるともっと便利です。
- A 商品陳列時にデザインタブの商品ツリーからのドラッグ&ドロップで陳列ができるようになりました。
- Q ファイル一覧表からデータファイルの複写が簡単にできませんか。
- A ファイルツリー機能を追加しました。DBデータの「複写・移動・削除・開く」などがマウス操作で行うことができます。
- Q 棚上での右クリックしてコピーできるとよい。
- A 商品を選択中にマウスを右クリックして、ポップアップメニューでできる機能を追加しました。
- 積段+（積み上げ段数を+1します）、積段-（積み上げ段数を-1します）、削除左（選択中の商品より左側の商品をすべて削除します）、削除右（選択中の商品より右側の商品をすべて削除します）
- Q POPのドラッグ&ドロップができるようにしてほしい。
- A POP陳列時にデザインタブのPOP一覧表からのドラッグ&ドロップで陳列ができるようになりました。

表示印刷関連

Q 棚割表で文字が右隣りの文字に重なります。

A オプションの画面で、フォントサイズを調整できます。重なる場合は小さいフォントをご使用ください。

Q 棚割表で売価の表示はできますか。

A オプションの画面で、売価にチェックを入れることにより、印刷表示ができます。

Q 棚割表で商品と商品間にすきまがあくような場合はどうすれば良いですか。

A ダミーの商品を登録してその空白を埋めてください。

Q 自社の商品コードを印刷したいのですが。

A オプションの画面で、印刷項目を選択することができます。

Q 棚割の結果を一覧表で印刷できますか。

A 棚割リストを印刷できます。

Q 画面に表示される棚割図をEXCELなどに貼り付けたり、メールに添付して送りたいのですが。

A ファイルメニューから「画面を保存」を選択すれば、画面の表示をそのまま画像ファイルにすることができます。

保存するファイル形式はBMPとJPGが選択することができます。

画像ファイルとして保存しておけば、EXCELに貼り付けしたり、メールで送ったりすることもできます。

Q プリントアウトしたときの右肩に印刷される日時を出ないようにするにはどうしたらよろしいでしょうか？

A 作成日の印字をしない指定を追加しました。(設定メニュー→オプション→図表→作成日の印字をしない設定)

Q 棚割図をメールで送信したいのですが、エクセル等に変換して送るのでしょうか？

A メールに棚割図を添付して送るには、画像を保存して、その画像を添付する方法が良いかと思います。棚割図を画像に保存するには「ファイルメニュー」>「画像を保存」>「保存」で画像が保存できます。

Q 棚割表を印刷するとJANコードと商品名が重なって見えます。

A 「印刷」画面の中の「行間隔」を設定すると重なりません。

その他

Q 保存したデータが保存されていない。

A 保存処理中に、何らかの異常が発生した可能性があります。

この場合は、プログラムを終了して、再度起動して下さい。

Q 作業の途中で電源が切れた場合は。

A 現在作業中のデータは、保存されていません。

作業中のデータは、時々保存するようにしてください。

自動保存の機能を使用して一定時間間隔で保存が可能です。

Q 必要なデータを削除してしまった。

A 誤って削除してしまったデータは復旧できません。

時々、データファイルのバックアップをとるようにして下さい。

Q ファイルの新規作成ができません。

A 新規作成する場合は、TanaDB.db というファイルを複製して保存して使用します。このファイルが無い場合、新規作成ができなくなりますので、再インストールが必要です。

Q 分りやすい、マニュアルが欲しいです。

A マニュアルは「ユーザーズマニュアル」(全体の説明書)と「ナビゲーション」(初心者向け操作説明書)と「ヘルプ」(全体の説明書)などがあります。なるべく分かりやすくするように努力をしています。

Q パスワード入力でエラーになり、ユーザー登録ができません。

A パスワードを正確に入力してください。英字の大きさをチェックしますので正確に入力してください。

Q 実行が遅くなり、たまにフリーズします。

A 商品の画像をネットワーク上の別のパソコンにしているためです。商品の画像はこのソフトの入ったパソコンに入れてご使用ください。

起動

「3D」アイコン、または「表示」メニューの「3Dモーシオン」をクリックします。

回転、移動の操作

↑ ↓ ← → をキーボード入力すると什器全体が上下左右に移動します。

Z、X をキーボード入力すると什器全体が回転します。

A、S をキーボード入力すると什器全体が拡大、縮小します。

Q、W をキーボード入力すると什器全体が前後に移動します。

マウスで左ボタンを押したまま移動すると、視点が自由に移動します。

画面を保存

画面をそのまま保存します。

画像ファイルの種類には「JPG」「BMP」「GIF」「PNG」が指定できます。

保存先は次の場所です。

C:\¥棚割n@vi¥PIC¥

什器の材質の変更方法

「設定」メニューの「オプション」の「3Dモーシオン」の中で指定します。

背景色を変更するには、「背景色の色ボタン」をクリックして色を選択します。

銃器の材質を変更するには「什器材質の画像ボタン」をクリックします。

下のフォルダに用意された「什器_木目.jpg」などの画像を選択します。

C:\¥棚割n@vi¥PIC¥

「什器_アルミ」「什器_大理石」「什器_和紙」などのインストールされた画像の他に、色々な画像をもってきて設定することもできます。

複数の画像ファイルを、棚割に適したサイズにまとめて拡大縮小することができます。

画像入力フォルダを指定します

画像入力フォルダに複数の画像ファイルを入れておきます。

画像ファイルの拡張子は、BMP、JPG、GIF、WMF、PNG です。

画像出力フォルダを指定します

変換結果を入れるフォルダを、指定します。

拡張サイズを選択します。

高解像、標準、低解像、その他の中から選択できます。

本ソフトの場合は、標準または低解像を選択してください。

ご注意

1. 当ソフトウェア及びマニュアルの無断複写・転載は個人ユーザーのバックアップ作成を除き一切禁止します。
2. 当ソフトウェアのサポート(使用方法のお問い合わせ、バージョンアップ等のご案内)はユーザー登録者のみに行います。
3. 当ソフトウェア及びマニュアルは改良のため予告なしに仕様変更する場合があります。
4. 当ソフトウェアの使用により、万一お客様に損害が生じたとしても弊社はその損害について責任を負いません。

『棚割n@vi3D』ユーザーズマニュアル for Windows XP/Vista/7/8/8.1(32bit/64bit)

平成 13年 2月 1日 初版発行

平成 29年 9月 1日 第十三版発行

発行人 久兼敏和

発行編集 株式会社ヒサカネシステム

〒738-0026

広島県廿日市市上平良1034

TEL/FAX (0829)30-3520

ホームページ <http://www.hisakane.co.jp/>

Eメール softsupport@hisakane.co.jp

TNUS0017